

令和6年度使用教科用図書 調査研究報告書

《小学校用教科用図書》

国語	…	P.1
書写	…	P.4
社会	…	P.7
算数	…	P.12
理科	…	P.18
生活	…	P.23
音楽	…	P.29
図画工作	…	P.31
家庭	…	P.33
保健	…	P.35
外国語	〈英語〉	… P.41
道徳	…	P.47

教科名（ 国語 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ QRコード「思い出そう」が添付されており、6年間の学びを意識した縦の系統性、他教科・領域等で生きて働く「言葉の力」の育成を図るように工夫されている。 ・ 対話の基礎的な内容(わけを話す、詳しく聞く)について、具体的な語例を示して学年に応じて段階的に身につけることができるように教材化している。 ・ 見開きで作成された単元の扉のページに、大まかな計画が示されており、学習の見通しを持つことができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年をまたぐ縦の系統性も十分に考慮されており、螺旋的・反復的に学習を積み重ねられるように考慮されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の様々な場面における言語活動の内容が設定されており、学びを日常生活で活用できるように工夫されてある。 ・ 学年最後には1年間の言葉の力をまとめる単元が設定されている。1年間の成長を振り返り、次年度へつなげる構成となっており、目的や意図に応じて資料（情報）を読み取ったり、活用したりする力をつけることができる。 ・ 手塚治虫、豊岡のかばん等、兵庫県に関する内容、防災に関する内容が、高学年を中心に多く取り上げられている。発展的に取り扱うことで兵庫県各地域の実情に合わせた取組が可能である。 			

教科名（ 国語 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・背表紙が上下巻で色分けされており、ひと目で区別しやすい。 ・SDGsの視点が意識され、児童にわかりやすいようにアイコン化して目次に示されている。 ・「どのようなことを学ぶのか」具体的なノート例や対話例が示され、見通しを持って学ぶことができるようになっている。 ・フォントが特徴的でひらがなと漢字の大きさの差があまりないすっきりとしたフォントである。 ・複合型単元を採用し、一つの単元で2つの説明文がついており、最初に短い文章で練習してから、長い説明文で要点を見つける活動を行うことができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下巻に分かれており持ち運びやすいが、1年を通した学びを行うことが難しい。 ・全学年を通して「話す・聞く」の領域の分量が少なく、課題のある領域の重点的な指導がしづらい。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の本の紹介が少なく、活用や読み広げる活動に物足りなさがある。 ・伝統的な言語文化に関する内容（四季それぞれの詩歌と語彙、慣用句、俳句など）を取り上げ、日本語の美しさ・豊かさに触れられるようにしている。しかし、題材の説明、配列の意図がわかりにくい。 			

教科名（ 国語 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の始まり段階で、各領域ごとに学習内容が整理されており、わかりやすい紙面構成となっている。 ・複合型単元を採用し、一つの単元で2つの説明文がついており、最初に短い文章で練習してから、長い説明文で要点を見つける活動を行うことができる。 ・「話す・聞く・書く」の活用をねらいとする単元構成となっている。 ・「問いをもとう」という課題設定を重視しており、どの単元においても自ら問いを立てて学習を進める学び方を示している。 ・学習の手引きに、単元の流れが集約されており、単元構成がわかりやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各領域の資質・能力が育成されるように、系統性を考慮した内容配列になっている。学年をまたぐ縦の系統性も十分に考慮されており、螺旋的・反復的に学習を積み重ねられるように工夫されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関連する内容のQRコードを全学年に配置している。 ・「読む」項目において、さまざまな国や民族への理解を深め、国際性を養う作品を取り入れている。 ・「学習のページ」で「問いをもとう・目標」を新設し、「問い」をもつことから学ぶ意欲を喚起させている。 ・単元の振り返りに、学習過程に沿った課題（とらえよう・ふかめよう・まとめよう・ひろげよう）、評価の三観点で自己評価できるように設定されている。 			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンプルに、明快に、気づきを大切にしながら書くことを学ぶことができる。日常の課題や生活、他教科とつながることを大切にしている。 ・左利き、色覚特性等児童の多様性や特別支援に配慮した、紙面構成やフォントが工夫されている。 ・低学年の学習では、書くことの基礎をつくるための水書用紙、クイズ、イラスト等の工夫がある。また、小学1年生は、年度当初と末に記名欄があり、一年間の学習の成果が実感できる。 ・豊富な151のQRコードを利用して、さまざまなコンテンツを見ることができる。3者の中では、映像内での筆使いの音声説明が一番詳しい。このように、毛筆を使った学習が丁寧に指導できるよう配慮されている。家庭での自学自習にも役立つ。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆は、どのお手本にも、指でなぞる指示文に本時のめあてが焦点化された記述がある。また、学習の要点を「書写のかぎ」とし、6年生まで同じ表現を用い、系統的に整理している。 ・どの単元も、①見つけよう、②確かめよう、③生かそう、④ふり返ろう、と同じ手順で示されており、学習者が学び方を身に付けやすい工夫がされている。 ・中・高学年で掲載される毛筆の手本の数が3者で2番目に少ない。 (3年10字、4年9字、5年8字、6年8字、合計35字) ・分量は3者とも同程度。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、書くことの基礎をつくるために、書くための姿勢を「あし ぺた ぴん とん」とリズムカルな標語で分かりやすく示されている。また、水書用紙を利用して何度も筆で書いてみることで硬筆への書写動作に役立つ配慮がされている。 ・中・高学年では、硬筆や毛筆の書写の学びが生活に生かせるよう、他教科で扱う題材や言語活動が充実した内容になっている。 ・書写学習を通して、学習者が、幅広い知識と教養を身に付けられると共に、自分の文字を整った文字にしていこうとする課題解決の過程で主体的な学びが期待できる内容である。 			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 硬筆は、QRコードの掲載、指でなぞる、点画のポイントを示す、などの工夫がある。横書きの書き方が示してあり、算数等の他の学習でも活かせるようになっている。 ・ 毛筆は、穂先の通り道を朱墨で明快に示した図版を掲載し、基本の筆使いの確実な定着を図っている。朱墨の文字は、3者で一番大きく見やすい。授業開きで「なぜ毛筆を学習するのか」を考えるなど、「学習の動機付け」「目次」「学習の進め方」が丁寧に示されている。 ・ 4年生では書写で学んだ「筆記具のくふう」を使って、国語の時間に「新聞作り」を行うなど、書写で身につけた力を言語活動で生かすことを大切にしている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 硬筆は、学習の振り返りをしやすいように工夫されている。運筆練習が段階的になっており、楽しく学習できるが、書く分量が少ない。 ・ 毛筆は、①文字の大きさと配列、②組み立て方、③点画のつながりの順に学習する。このように、内容の配列について、整った文字を学べるように系統性のとれた配列となっている。 ・ 中・高学年で掲載されている毛筆の手本の数が3者で一番少ない。（3年9字、4年9字、5年9字、6年文字、合計34字） ・ 分量は、3者とも同程度である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 硬筆は、書字の姿勢の説明が簡潔で分かりやすい。筆順を2色で分けてあるが、平仮名・片仮名については画数が少なく、画数に応じて色分けするなどの指導が必要である。 ・ 「適切に運筆する能力の向上」を目指して、水書用紙での学習に力を入れている。 ・ 毛筆は、書写で「なぜ筆順が大切なのか」を明らかにし、字形を整える一つの要素として理解し、それを使えるようにさまざまな文字を取り上げている。国語科の漢字学習を書写の学習と直結した指導ができる工夫がされている。 			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆は、「学習の進め方」が示され、「たいせつ」コーナーでポイントが確認できる。学習の流れがひと目で分かり、学びやすく、教えやすい工夫がされている。 ・1年のひらがな教材では、「とめ」「はらい」等の筆使いを「ぴたっ」「すうっ」などの言葉で示されている。イラストで楽しく学べる工夫がされている。手本の字も大きく見やすい。 ・毛筆、硬筆共にQRコードで筆使いを確認できる。上と斜めからの映像の組合せやポイント解説が入り、3者の映像の中では一番見やすい。手本の字は、やや小さい印象を受ける。 ・「書写ゴミゼロ」の取組等、SDGsに関連した内容が3者中で一番豊富である。文字の歴史についての特記、学習の要点と他教科との関連がまとめられた「書写ブック」も良い資料である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容が見開きに整理されている。写真で運筆が例示されており、学習者がイメージしやすい。平仮名と片仮名の手本が同一ページに掲載されており、比較しやすい。 ・6年生では、①組み立て方、②点画のつながり、③文字の配列の順に学習する。内容の配列について系統的に学べる配列である。 ・掲載される毛筆の手本の数が3者で一番多い。（3年12字、4年11字、5年10字、6年10字、合計43字） ・分量は3者とも同程度。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業前後の「書写体操」があり、6年間を見通した正しい姿勢や筆記具の持ち方の確認ができる。 ・低学年には、水書用紙が収録されており、筆使いを何度も体感できる。また、写真で運筆が例示され、学習者がイメージしやすい工夫がされている。 ・高学年で硬筆欄を新設し、毛筆の学習をもとに、硬筆に生かす意識を高める工夫がされている。 ・「書写のゴミをゼロにする」ための取組等、SDGsを意識した内容が3者の中で一番豊富。子どもが書写の学習の中でSDGsについて学び、考えることができるようになっている。 			

教科名（ 社会 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年で「まなびのポイント」として学習活動を例示し、「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習ができるようにしている。問題解決的な社会科の学習を展開できる工夫がある。 ・一人一台端末に対応した多様なQRコンテンツやワークシートの掲載されている。 ・社会に生きる多様な人への取材を掲載している。 ・多様な表現活動に取り組むことができるように、「まとめる」場面を小単元の終末に設定している。 ・学習の技能や方法を一人一台端末の活用と各学年の発達段階に応じて、「まなび方コーナー」を設定している。 ・5年生は上下2冊、6年生は歴史編・政治国際編2冊で編集されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的な学習を展開できるよう内容を重点化し、適切な時数が配当されている。ページについては全学年において3者の中では一番少ない。 ・「〇〇さんの話」など社会で活躍している様々な人物への取材が紹介され、将来にわたってよりよい社会の形成者としての基礎を育成するよう配慮されている。單元ごとに色を変えた囲みで示してある。 ・カラーユニバーサルデザインへの配慮や読み取りやすさに配慮されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小單元ごとに学習問題を設けて紙面を展開し、課題を追究したり解決したりする活動ができるように編集されている。 ・兵庫県に関して取り上げられた地域事例は、市の様子とうつりかわり（明石市）、日本国憲法（尼崎市）、製鉄業（加古川市）、日本にある世界遺産（姫路市）、阪神淡路大震災について（神戸市）などがある。 ・全学年に防災・安全に関する内容が取り上げられている。 ・現代的な諸課題の学習として、SDGsに関する内容や、人権・平和に関する内容が充実している。 ・防災・安全教育に活用できる教材を各学年に掲載している。 			

教科名（ 社会 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問いを中心とした学習の展開がされており、問題解決的な学習の進め方が身につくような構成となっている。問題解決的な社会科の学習を展開できる工夫がある。 ・ 主体的に学べるよう豊富な資料や二次元コード・コンテンツの掲載がある。 ・ 社会に生きる多様な人への取材を掲載している。 ・ 白黒写真のカラー化がされている。 ・ 対話的な学習を促すような「まとめ」や「つなげる」のページが設定されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の目標・内容・内容の取扱いに準拠し、適切に構成・配列されている。 ・ 各学年の授業時数を踏まえて編集されている。頁数については3、4、6年において3者の中では一番多い。 ・ 「〇〇さんの話」など社会で活躍している様々な人物への取材が紹介され、対話的な学びへの配慮がある。オレンジ色の囲みで示してある。 ・ カラーユニバーサルデザインへの配慮や読み取りやすさに配慮されている。 ・ 第4学年では、他の教科書と比較して多くの選択単元が設定されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の変化や課題に自ら対応していく資質や能力を育むために、問題解決的な学習を基調に編集されている。 ・ 兵庫県に関して取り上げられた地域事例は、電柱をなくす工事（芦屋市）、いかなご漁（明石市）、菓子製造所（神戸市）、阪神・淡路大震災（神戸市）世界遺産（姫路市）などが取り上げられている。 ・ 全学年に防災・安全に関する内容が取り上げられている。 ・ 現代的な諸課題の学習として、SDGsの取り組みについて考えるページが各学年で設定されている。 ・ 全学年に防災教育に関連するページがある。 			

教科名（ 社会 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間ごとに問題解決的な学習ができるように、見開き2頁に問題を発見、追究し、解決へ向かう構成となっている。問題解決的な社会科の学習を展開できる工夫がある。 ・ 「社会的な見方・考え方コーナー」や「学び方・調べ方コーナー」によって、事象の特色や意味などを深く調べることができるようになっている。 ・ 社会に生きる多様な人への取材を掲載している。 ・ SDGsで社会の諸課題を多角的に捉える学びのコーナーや特設頁が設けてある。また、目標シールで確認できるように工夫している。 ・ 教科書QRコンテンツによって、ICTを利用した個別最適な学びを支援する工夫がなされている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の主体的・対話的な学習活動が展開できるように内容の重点化が図られ、適切な時数が配当されている。児童の思考の流れを重視した配列になっている。 ・ 全学年にわたって、児童一人ひとりが主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、学習問題を追究・解決する活動の充実が図られている。 ・ カラーユニバーサルデザインへの配慮や読み取りやすさに配慮されている。 ・ インパクトのある写真やイラストがページの上段にレイアウトされ、効果的で見やすい。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的な見方・考え方を生かした問題解決的な学習の進め方ができるよう構成されている。 ・ 兵庫県に関して取り上げられた地域事例は、地震による災害（神戸市）、水害への備え（佐用町）、村を育てる教育（但馬）、市の様子（姫路市）、まちではたらく人びと（姫路市）などがある。 ・ 全学年に防災教育に関する内容が取り上げられている。特に4年生では「自助・共助・公助」について、5年生では「減災」について、6年では「災害復旧」について取り上げられている。 			

教科名（ 社会 地図 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料地図（主題図）の内容が充実しており、整理された見やすい構成となっている。 ・地図に関する問題を「ポップ・ステップ・マップでジャンプ」として全体で70問を設定し、関心・意欲を引き出したり、地図の活用や地図から考えたりする力の向上を図っている。 ・学びをサポートするキャラクターを登場させることで、子どもの目線に寄り添って学習をサポートできるようにしている。 ・児童の発達段階への配慮として、3年生からの使用をふまえ、地図の仕組みと約束事をわかりやすく解説した、地図学習の頁を新設している。 ・見やすくわかりやすい地図表現 ・P77～80の資料図では、世界史的な視点を持ちながら、日本の歴史について学習を深めることができる。 ・堅牢な糸かがり製本である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての都道府県の拡大図を途切れることなく掲載している。 ・各見開きの左頁端に地図帳のテーマごとに色分けしたインデックスを設けている。 ・地域同士を比較しやすい縮尺にしている。 ・全体の分量104頁、地図の使い方2頁、地図のきまり4頁、日本の各地の地図36頁、世界の各地の地図12頁。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図や地球儀を効果的に活用し、国土に対する地理的理解や社会生活への理解を深める学習を進められるよう配慮してある。 ・防災教育に関する内容として、「日本の自然災害」について3頁掲載されている。 ・日本の歴史についての内容が設定されている。 			

教科名（ 社会 地図 ）

発行者番号	46	発行者名	帝国書院
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生からの使用をふまえ、地図の仕組み、約束事、地図帳の使い方をわかりやすく解説し、3年生向けに広く見渡す地図を掲載（30頁まで）している。初めて地図帳を手にする3年生の発達段階を意識したより見やすい構成となっている。 ・歴史学習や他教科での活用のために、歴史のテーマ地図や世界遺産の頁を設けている。 ・SDGsの視点を養える資料、防災・減災への理解を深める資料の掲載がある。 ・日本の領土についての認識を教える構成となっている。 ・主体的な学びから深い学びへの「地図マスターへの道」において、全体で100問を設定している。 ・軽くて丈夫な糸かがり製本 表紙にはポリプロピレンシートを使用している。 ・美しく鮮明な印刷で見やすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての都道府県の拡大図を途切れることなく掲載している。 ・各見開きの右頁端に地図帳のテーマごとに色分けしたインデックスを設けている。 ・発達段階に応じた学習しやすい配列となっている。 ・地域同士を比較しやすい縮尺にしている。 ・全体の分量134頁、地図の使い方4頁、地図の約束6頁、日本の各地の地図58頁、世界の各地の地図12頁、持続可能な開発目標2頁。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育に関する内容として、「日本の自然災害と防災」について4頁掲載されている。 ・現代的な諸課題として「SDGs」に関する内容が設定されている。 ・地図や地球儀を効果的に活用し、国土に対する地理的理解や社会生活への理解を深める学習を進められるよう配慮してある。 			

教科名（ 算数 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決型の授業を想定した構成・展開としている。 ・ デジタルコンテンツが約 1450 用意されている。 ・ 既習事項の活用を促進し、自ら次の課題を見出し解決していく力を育てるため、吹き出しや補助発問を段階的に減らしている。 ・ 1年1 (A4) ・ 2、2～5年上下、6年1冊(B5)。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 120(1年)～160(5年)時間で計画され、予備時間を 15(1年)～27(2年)時間としている。 ・ 補充的な問題の量は他者と比べて少ない方である。 ・ 3年生では小数、分数の順で配列されている。 ・ 5年生の面積は、平行四辺形から導入されている。 ・ 単位量当たりの大きさや割合などでは、主に数直線図を使っている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各時間のまとめでは、問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方を可視化し価値づけたり、既習事項との統合や発展的な考察を示唆したりしてある。「同じように考えると」や「それなら」など吹き出しに見出しをつけ、既習事項を生かしたり、自ら課題を見出し解決したりするように促している。 ・ 兵庫県に関する内容は、4年上、6年の2か所。 ・ 防災に関する内容は、3年下、4年下の2か所。 ・ プログラミング的思考に関する内容は4～6年で各1か所。 ・ SDGsに関する内容は、4～6年でそれぞれ1か所。 			

教科名（ 算数 ）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ページをめくらないと解決方法や話し合いが見えない構成が多く、数学的な見方・考え方を働かせながら、思考力・判断力・表現力を伸ばせるよう工夫されている。振り返りの例文が多く掲載されている。 ・ デジタルコンテンツが 1445 準備されている。 ・ 1年1(A4)・2、2年～6年1冊(B5)となっており、行事や研究発表等に応じて単元を入れ替えやすくなっている。 ・ デジタル教科書は、多言語に対応している。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 119(1年)～159(4年)時間で計画され、予備時間を 16(4年)～46(6年)時間としている。 ・ 補充的な問題は、他者と比べて少ない方である。 ・ 3年生では、小数、分数の順で配列されている。 ・ 5年生の面積は、平行四辺形から導入されている。 ・ 単位量当たりの大きさや割合などでは、主に数直線図を使って立式している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の導入などには児童自身が問題や疑問をみだし、主体的に取り組めるようにしている。 ・ めあての前には児童自らがめあてを導くことを示すため、めあてを導くキャラクターの吹き出しを設けている。 ・ 兵庫県に関する内容は5年1か所。 ・ 防災に関する内容は、5年6年の2か所。 ・ プログラミング的思考に関する内容は、2～6年は2か所、1年は1か所。 ・ SDGsに関する内容は、2～6年で9か所 			

教科名（ 算数 ）

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では「？を発見」のページを設定し、算数がより身近に感じられ、主体的な学びへ迎えるよう工夫している。 ・数学的な見方・考え方を表す9つのキャラクターで子ども達が楽しみながら学べるように工夫している。 ・デジタルコンテンツは、全610用意されている。 ・1年から5年まで上下、6年1冊と中学校への架け橋(AB)。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・114(1年)～159(4年)時間で計画され、予備時間を16(4年)～45(6年)時間としている。 ・補充的な問題は、他者と比べて多い方である。 ・3年生では小数、分数で配列されている。 ・5年生の面積は、平行四辺形から導入されている。 ・単位量当たりの大きさや割合などでは、主に数直線図や表を使って立式している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の学年で身に付けた数学的な見方・考え方を領域の学習ごとに振り返ったり、考え方モンスターごとに当該学年の学習を振り返ったりできるよう工夫してある。 ・低学年では、基礎的な知識・技能や概念・原理の理解が十分図れるよう、中学年では考えを育むよう、高学年では低中学年で学習したことを活用し主体的に考え活用する態度を育む。 ・兵庫県に関する内容は3年6年で各1か所。 ・防災に関する内容は1年6年で各1か所。 ・プログラミング的思考に関する内容は、全学年で各1か所(2ページ)。 ・SDGsに関する内容は、全学年で各3か所。 			

教科名（ 算数 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの「はてな」からめあてをつくり、主体的・対話的な学びをとおして、「問い」を深め、「なるほど」を見いだし、さらに新しい問い「だったら」へつなぎ、問いを持つ力を育めるよう工夫されている。 ・単元末には4コマ漫画で、学んだことのよさや数学的な見方・考え方を振り返れる。 ・デジタルコンテンツは、全591か所用意されている。二次元コードはその横。 ・1年・5年・6年は1冊。他は2冊(B5)。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・123(1年)～167(4年)時間で計画され、予備時間を8(4年)～23(6年)時間としている。 ・補充的な問題は、他者と比べて多い方である。 ・3年生では分数、小数で配列されている。 ・5年生の面積は、平行四辺形から導入されている。 ・単位量当たりの大きさや割合などでは、主に数直線図を使って立式している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元1～3では、問題「発見力」「解決力」「追求力」に焦点をあてた学び方のモデル単元としている。 ・目的意識をもって学習に取り組めるように教材や問題提示を工夫し、単元のまとまりとしても学びを深められるよう工夫されている。 ・兵庫県に関する内容は無い。 ・防災に関する内容は3年で1か所。 ・プログラミング的思考に関する内容は、1年2年4年5年で各1か所。 ・SDGsに関する内容は、5年で1か所。 			

教科名（ 算数 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の問いや気づきを「めばえ」として示し、児童からめあてを引き出す授業展開ができるように構成されている。毎時間に、めあて、まとめがある。 ・問題把握から解決までのプロセスで、児童に価値づけたい数学的な見方・考え方をマーカーで強調し、統合的・発展的に考え、対話的な学びが深まるよう工夫している。 ・デジタルコンテンツは1614か所用意されている。他学年のものも見られる。 ・1年すたあとぶっく(A4)、2年から4年2冊、1年5年6年1冊(B5)。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・127(1年)～161(5年)時間で計画され、予備時間を9(1年)～38(6年)時間としている。 ・補充的な問題は、最も多い。 ・3年生では分数、小数で配列されている。 ・5年生の面積は、三角形から導入されている。 ・単位量当たりの大きさや割合などでは、文脈を読み取り関係図に表して、線分図、直線図で立式している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や実社会の中から教材を取り上げ、それらについて意欲的に探究できるように学習活動を設定している。自ら課題を見つけ、その課題について協働的に解決する学習が進めやすく工夫されている。 ・兵庫県に関する内容は4年、5年で各1か所。6年で2か所。 ・防災に関する内容は5年、6年で各1か所。 ・プログラミング的思考に関する内容は、6年は2か所。他学年は1か所。 ・SDGsに関する内容は、3年から6年で各4ページ。 			

教科名（ 算数 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の学習場面を模した紙面構成で、児童が考え、話し合い、結果を引き出すまでを示し、思考力判断力、表現力等を育むようにしている。各学年2～4か所。 ・巻末の算数マイトライは3段階で習熟度別指導にも活用できる。 ・デジタルコンテンツは全838用意されている。 ・1年1,2、2年から4年2冊、5年6年1冊(B5)。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・126(1年)～168(4,5年)時間で計画され、予備時間を7(4,5年)～18(3年)時間としている。 ・補足的な問題は、最も少ない。 ・3年生では小数、分数で配列されている。 ・5年生の面積は、平行四辺形から導入されている。 ・単位量当たりの大きさや割合などでは、テープ図、直線図で立式している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を確かめるページを設けたり、数の意味や表し方、計算の意味、量の単位と測定、図形の意味や性質など新しい内容を抽象化、一般化する過程を丁寧に扱っている。 ・数学的な見方・考え方を働かせることを意識し、見出しを付けた見方・考え方の吹き出しを多く配置している。 ・兵庫県に関する内容は5年で1か所、6年で3か所。 ・防災に関する内容は、2年4年で各1か所。3年5年で各2か所。 ・プログラミング的思考に関する内容は、5年は2か所。他の学年は1か所。 ・SDGsに関する内容は、5年6年で2か所。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の学習の流れがわかりやすく、単元の流れを矢印で表示されている。 ・ 教科書だけでなく、一人一台端末を活用することを想定してQRコードによる動画が多く用意しており、主体的な問題解決をサポートしたり、学んだことをさらに広げたりすることができる。 ・ 子どもの思考の流れに沿った展開になっている。 ・ 読み物や興味関心を引くコラムが多く用意されている。 ・ A4サイズで教科書サイズが大きい。 ・ 児童主体で問題解決できるような構成である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理科の4領域が巻頭に用意されていて、系統がわかりやすく配列されている。 ・ 巻末に、1年間で学習したことをわかりやすくまとめている。 ・ 6年生の教科書が450g ・ 単元配列や観察・実験の方法など工夫し、体験活動や発展的・補足的な学習の時間も確保できるようにしている。 ・ エネルギー領域の取り扱いが少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気づきから思考力をのばすように導入の工夫がされている。 ・ 防災に関する資料を多く扱っている。 ・ SDGsやプログラミングの内容を取りあつかっている。 ・ キャリア教育につながる専門家の意見が掲載されている。 ・ 児童の対話例などを随所に掲載し、協働的に問題解決しようとする態度の育成ができるようにしている。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「結論」ということばで、各単元がまとめられている。 ・ページ内に多くの情報があり、丁寧さが見られる。 ・導入に大きな写真を用意して、見つける（発見）を重視している。 ・3年生に生命の領域が多く用意されている。 ・学校にあるものでモノづくりや実験がしやすいように紹介している。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活との関連を図る内容の事例数やものづくりの内容の事例数も多い。 ・3年生は、植物のことからスタートしていて、途中で昆虫の学習に切り替わり、植物と動物を交互に学習するようになっている。 ・6年生の教科書はA4判で540gある。 ・4年生の雨水の行方のページ数が他者よりかなり多い。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育やSDGsに関するページが多い。 ・プログラミング教材も用意されている。 ・兵庫県に関連する内容は少ない。 ・資料が多く、学んだことと実社会とのつながりが感じられるようになっている。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の最初に「できるようになりたい」、単元の終わりに「できるようになった」ということを明確にし、振り返りをする構成になっている。 ・キャラクターが多く用意されていて、キャラクターとともに課題解決をするようになっている。 ・文字による情報が多いように感じる。 ・子どもの思考にそった構成になっている。 ・学んだことが社会に活かされていることを明示している。 ・問題、実験、結論という流れがある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で年間の学習の見通しを示し、巻末でついた力を明示している。 ・3年生の「チョウを育てよう」の単元が、他者より遅い時期の学習になっている。 ・実験観察では、A領域が多い。 ・6年生の教科書だけ他学年より多い。540gある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県に関するものは、6年生の火山の部分にだけある。 ・結果を使って話し合いをするような内容が多い。 ・授業を通して学んだことを、身近なことに使われていることを専門家等のコラムを用意して気づかせようとしている。 ・SDGsと各単元のつながりを裏表紙にまとめてある。 ・学習した内容を相手に伝えるように説明する活動を通して、深く理解できるように工夫されている。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮したページを用意して、危険がないように実験棟を行う表記が多い。裏表紙が、安全の手引きになっている。 ・「国語で学んだことを生かそう」や算数とのつながりなど、他教科との関連を明示している。 ・既習事項を想起させるような吹き出しを用意して、単元の系統性を意識させている。 ・子どもの考えがつながり、深まるように問題解決の流れが明確にしている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数が多く、詳しくまとめられている。 ・2学期制にも対応している。 ・6年生の教科書は490g ・QRコードによる資料は少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習前の〇〇さん、学習後の〇〇さんのページがあり、わかったことや方向性を明確にしている。 ・プログラミング的思考を、6年生で多く扱っている。3年から5年生はない。 ・学年でつける力をところどころに配置し、思考力を伸ばすことができる。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見つける、調べる、まとめる、の3段階が明示されていて、学びのサイクルがわかりやすい。 ・ 手書き風のまとめノートが用意されていて、ノートづくりがしやすい。 ・ 1枚の写真で、課題等がわかりやすい。 ・ 教科書の流れにガイドがつけてあり、学びの流れがつかみやすい。 ・ 理科の広場が用意されている。他教科マークで内容の関連が図られている。 ・ 実社会との関連が図られている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生の教科書は430g ・ ページ数が学習の時間数にあわせてあり、適切な分量である。 ・ 単元末のQRコードで、補充の問題が用意されている。 ・ 発展学習を主体的に学べるようになっている。 ・ もっと知りたいという思いに対応できるページが用意されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫県を題材にした写真やコラムが多い。 ・ 題材が身近なものが多く紹介されている。 ・ 郷土愛が感じられる工夫が見える。 ・ 防災や減災についてすべての学年で取り上げられている。 ・ SDGsのマークを配置して関連付けを明確にしている。 ・ 実生活や実社会とのつながりを大切にし、「活用しよう」「学びとリンク」「理科の広場」など日常生活との関連を図る内容を多く取り上げ、学びを再確認する工夫がされている。 			

教科名（ 生活 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムが別葉で綴じこまれており、園小での学習の接続の重要性を意識した構成になっている。 ・具体的な活動や体験への意欲を引き出せるよう、学習場面がダイナミックで表情豊かな写真や挿絵で表現されている。 ・イラストや吹き出しが多く、また、板書例も提示されており、児童の対話や思考の妨げとなったり、児童の実態に沿った指導の妨げになったりする。 ・二次元コードが随所に配置され、クイズや図鑑を見ることができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻では教室から学校全体、自分の通学路へ、下巻では学校の周辺から地域へと活動範囲が広がっていくように学習活動が構成されている。 ・上巻と下巻に、飼育活動、栽培活動が位置付けられている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の言葉かけや環境構成、板書などの例が、挿絵や吹き出しで示されており、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ることができるように工夫されている。 ・マーク（♡（主体的に取り組む態度）、！（知識・技能）、？（思考・判断・表現））は、主に育成を目指す資質・能力が明示されている。 ・伝統文化やふるさとに関する内容に身近なものが少なく、丹波地域や児童の実態には合っていない。また、防災に関する内容についても、取り扱いの記述が少ない。 			

教科名（ 生活 ）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムに配慮し、経験の振り返りから生活科の活動が始まるような導入を工夫しているが、内容が少ない。 ・単元の導入ページにダイナミックな写真や絵が提示され、主体的に学べる工夫がある。 ・見開きページ（左ページ）の上部に学習課題が書いてあり、取り組み内容がわかりやすい。 ・イラストや吹き出しを多く使って説明している。 ・イラストが中心の構成のため、写真が小さく児童が実際と比較検証しにくい。また、イラストに統一感がない。 ・QRコードの記載が少なく、その説明も十分ではない。 ・単元末に「きもちマーク」で振り返りができるようになっており、支援を要する児童にも感覚的に取り組ませることができる。 ・他教科と関連している箇所をマークで示している。 ・SDGsマークを活用し、児童が関心をもてるようにしているが、小さくて見落としがち。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校の実態に応じて活動が選択できるよう、多様な活動を例示している。 ・どの内容も大体均等に記載されている。 ・季節の流れに沿った大単元構成で、季節と活動を結びつけることができるよう工夫されている。 ・継続的な飼育・栽培活動で、生命の尊さを実感できるように工夫されている。 ・上巻を1年生、下巻を2年生。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投げかけを示し、思考力を育むように配慮している。 ・児童の思いや願いをもとに次の活動につながる流れを意識した紙面となっている。 ・「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」と「自分自身の生活や成長に関する内容」が最も充実している。 ・伝統文化やふるさとに関する内容と防災に関する内容が最も少なく、県の基本計画の視点から十分とは言えない。 			

教科名（ 生活 ）

発行者番号	1 1	発行者名	学校図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページ（左ページ）の上部に学習課題が書いてあり、学習内容がわかりやすい。 ・写真のページとイラストのページを使い分けている。イラストが古い感じがし、全体的な色調も暗い。 ・「はじまるよ しょうがっこう」で、スタートカリキュラムに配慮しているが、記述が少ない。 ・二次元コードに説明がないので、何を知るための二次元コードなのかわからない。 ・SDGsに関する内容の記述がない。 ・教科書の大きさがA版でもB版でもない大きさのため、児童が扱いにくい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材や教材が複数示されているので、地域や学校の実態、子どもの興味に応じて選択したり、適宜自由に扱える。 ・活動や体験の場が、上巻では学校や学校の周辺、下巻では地域へと広がっており、子どもの発達段階に配慮されている。 ・学習指導要領「生活や出来事の伝え合い」の内容は上下巻とも充実しているが、「学校と生活」「家庭と生活」の内容が少ない <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々、社会、自然と直接かかわる場面が数多く設定されている。 ・伝統文化やふるさとに関する内容が充実している。 ・継続した活動として設定されており、「気づき」を深めていける。 ・自己決定の場面を大事にしている。 ・「もっと」を設定し、さらに意欲をもって取り組める活動などを示している。 			

教科名（ 生活 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動がイメージしやすい写真例が多く掲載されており、視覚的に理解しやすい。 ・生活科で培いたい「きづく」「自分でできる」「考える」「伝える」「挑戦する」「自信をもつ」の「六つの力」の観点、見開きページ左上にサイコロの面に書かれており、児童も指導者もつきたい力を端的に捉えやすい。 ・「はじめのいっぽ」で「スタートカリキュラム」の姿を表現、「わくわくスイッチ」「わくわくクイズ」で意欲を喚起、「はっけんろうど」で気づきを促し、「ぐんぐんはしご」で見通しをもって学び、達成度（自己評価）を知る。 ・「学びのポケット」で、生活科と各教科の学習内容や方法との関連付けが図られている。（カリキュラムマネジメントが見える構成） ・見開きページ右上に二次元コードが定置され、動画や図鑑、ドリル、ワークシートも決まった記号で載っていたり、見出しがついていたりするので児童が活用しやすい。 ・「学びリンク」や「学びのポケット」にコンテンツを豊富に掲載しており、ICT活用で協働的に学べる。 ・共生、SDGsマークの配置と表示ページがあり、児童の意識付けになる。 ・A4版、厚さが扱いやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容が、他者より随分多く、充実している。 ・学習指導要領「生活や出来事の伝え合い」の内容は上下巻とも充実しているが、「学校と生活」「家庭と生活」「地域と生活」の内容は少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通したり振り返りしたりして、学びや変容を自覚できる学習活動になっている。 ・対話により考えを広げられる学習活動になっている。 ・自分で考える場面と教師の価値づける場面の例示がある。 ・学習対象と自分自身や自分の生活との関わりを考えることやそのための方法を生かした学習活動がある。 ・四季を通した自然に関わる校外活動、地域探検を中心とした校外活動が充実している。 			

教科名（ 生活 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各見開きの左ページに縦書きで学習活動、横書きで発問が記述されていたり、それに関わる活動写真や気づき、疑問がコメントで書かれたりしているので学習の展開には活用しやすい。 ・「ふりかえりコーナー」があり、学習が整理できる。 ・多様性を大切にした文章や絵があるが、情緒面で支援が必要な児童には理解しにくい。 ・イラスト中心で、児童の興味をひく生き物や植物、作品などの写真のインパクトが弱く、児童が実際と比較検証しにくい。 ・教科書の材質が厚紙になっており、扱いにくい。 ・QRコードが、上巻、下巻共に最初に4つあるだけ。（上巻は、+1） 単元ごとにないので、使用しにくい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻・・・学校・家庭などを主な活動の場としている。 ・下巻・・・身近な地域を主な活動の場としている。 ・学習指導要領「生活や出来事の伝え合い」の内容は上下巻とも充実している。 ・下巻には「学校と生活」「家庭と生活」の内容が皆無である。 ・本編と別冊資料編「ひろがるせいかつじてん」の別冊で構成。 本編は学習の流れが分かりやすい。資料は、主体的な学びを支える。 ・市域・栽培活動が、上下巻それぞれに位置づけられている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な表現方法を用い、他者と伝え合ったりふり返ったりしている児童の交流活動が随所に設けられている。 ・様々な価値観で考えたり学びを深めたりしている児童の姿が、ユニークな文章と絵で表現されており、多様な児童の存在を肯定し、児童一人一人が自分なりの思いや願いをもちながらも、協働的に学べるよう配慮されている。 			

教科名（ 生活 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムに関わる「すたあとぶっく」並びに「3年生へのステップブック」が別葉で綴じこまれており、前後の学年との学習の接続の重要性を意識できるようになっている。 ・教科書の大きさがA版でもB版でもない大きさのため、児童が扱いにくい。また、紙面が小さいため、記載される内容が過多になっている。 ・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階構成で単元が構成されており、単元計画を立てることに役立つが、学習の展開や深化は捉えにくい。 ・イラストや吹き出しが多く、児童の対話や思考を妨げる。また、写真やイラスト等の配列が並列的で、興味を引きにくい。 ・QRコードの記載が少なく、配置も各所それぞれのため、児童が検索活用しにくい。 ・次時への意欲付けとなる言葉が最後にあるので、見通しをもって学習することができる。 ・「びっくりずかん」は、児童の興味関心につながる内容になっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻は主として学校を、下巻は主として地域を活動の場として、活動の場が徐々に広がっていくように配慮されている。 ・上下巻共に、季節に沿って単元が構成され、単元が進むにつれて活動が広がり深まっていくように配列されている。 ・学習指導要領「生活や出来事の伝え合い」の内容は上下巻とも充実している。 ・上下巻共に、1，2年生までに学習する漢字すべてにルビがつけられており、1年生の児童でも下巻の教科書を使用することができるよう配慮されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入「わくわく」、活動「いきいき」、ふり返り「ぐんぐん」の3段階で示され、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。 ・「わくわく」で、学びの見通しをもち、「できるかな できたかな」で学習をふり返り、次への意欲が育まれるように工夫されている。 ・「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」が多く、充実している。 ・兵庫県に関する内容は最も多いが、丹波地域についての記載はない。 			

教科名（ 音楽 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、目次の次にある「学習マップ」は、具体的な活動内容や新出の内容（楽譜等）が具体的に示されており、すっきりとした構成で分かりやすい。 各単元で学ぶ楽器の写真が実物大で大変分かりやすく、1年生でもすぐに実技で活用しやすいようになっている。 学習をサポートする「まなびリンク」というよいコンテンツがあり、特に鑑賞曲については、教科書にある一部の楽譜だけでなく音を聴きしながら全楽譜が画面上で流れていくようになっているため、大変専門的で、曲の全体像を感じ取りやすい。 表紙はもちろん、各ページのイラストが非常に柔らかく優しい雰囲気のものになっており、児童が親しみやすく、穏やかな気持ちで音楽の学習に向かうことができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「音楽のもと」が右上に示してあり、各単元で何を学ぶかが児童にも分かりやすくなっている。 必須の内容以外にさらに学びを広げる場合のオプション内容があるため、曲数としては多めである。年間指導計画に示してあるため、学校の実情に応じて使うことができる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災がきっかけになって生まれた曲「花は咲く」の楽譜が記載されており、防災教育との横断的な学習ができる。 二次元コードなどを使って、新型コロナウイルス感染症の感染予防を示したり、SDGsに関する内容も取り入れたりし、今日的課題にも対応した内容になっている。 			

教科名（ 音楽 ）

発行者番号	27	発行者名	教育芸術社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> • はじめの見開きに各学年の「学習マップ」があり、学習内容や活動を4つの領域（歌う、演奏する、聴く、作る）に色分けして分かりやすく示してある。 • 3年生以上は、各学年の学習内容に関連した音楽家等のメッセージが「学習マップ」の前にあり、音楽に対する児童の興味関心をひく工夫がしてある。 • デジタルコンテンツが大変充実しており、各ページのQRコードを読み取ることで、紙面上だけではわかりにくい内容も小学生がおさえておくべきポイントを絞って学ぶことができる。特に、歌唱や楽器などで旋律を確認する際に短音で音取りがしてあり、鑑賞曲については節の特徴や動きを動画で見ることで音と同時に音の感じや旋律の動きを視覚的にも分かりやすくしてある。 • 各ページのQRコードだけでなく、さらにまなびを深めたい場合には、表表紙や裏表紙にあるQRコードから「ムーブの部屋」に入り、様々な音や動画で、楽器の使い方を確認することができる。「ムーブの部屋」をタブレット端末のお気に入りに入れておけば、児童が知りたいと思ったときや音楽に触れたいなと思ったときにいつでも聴くことや見るできるようになっている。 • 一つ一つの題材について丁寧に示してあり、万が一新型コロナウイルス感染症等で家庭学習となった場合でも児童が主体的に自ら学ぶことができるようになっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 多めに入れてあるが、年間計画表等をもとに学習活動の分量を弾力的に増減できるように配慮されている。 • はじめに友だちに関連する曲があり、クラスソングとしても活用できる。 • 後半には、一年間のまとめとなるような曲（6年生では卒業に向けた曲等）が使われている。 • 単元により「思い出してみよう」のマークがあり、既習内容を振り返りながら系統的に学習できるようになっているため学習の積み上げを児童自身が意識して学べるようになっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各単元の学習活動の示し方が、思考力・判断力・表現力（考える）、知識（見つける）、技能（歌う・演奏する・つくる）の資質および能力に対応するように構成してあり、「何を学ぶか」「何ができるようになるか」のめあてが明確になっている。そのため、音楽の指導経験が浅い教師でも、教科書を見るだけで、指導内容や支援方法のポイントを捉えやすく、指導しやすい内容となっている。 • 防災に関する内容も盛り込み、兵庫県にゆかりのある曲や日本の伝統文化に触れるような題材も多く扱っている。 • 各ページにあるキャラクターの吹き出しをヒントにして話し合い活動につながりやすいように工夫されており、単元によっては教科書に直接書き込める箇所も作ってあり言語活動も取り入れやすくなっている。 			

教科名（ 図画工作 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の色が、黒を基調とし、読みやすい配慮がなされている。 ・子どもの活動写真が多く入っていて、生き生きとした楽しそうな活動が紹介されている。 ・見開き構成の左上に、学習で使用する材料が図示されていて、一目でわかる工夫がされている。 ・教科書左下には「タブレットたんまつで見てみよう」のコーナーを設け、QRコードにより学習のポイント等、端末で見ることのできるデジタルコンテンツをまとめている。 ・教科書右下には、「あわせて学ぼう」のコーナーを設け、他教科や学校生活で関連付けるヒントの例を示している。 ・表紙の裏面に、造形表現の意味や可能性を考える児童へのメッセージがあり、キャリア教育の観点からも工夫されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次が見開き、写真入りで構成されており、1年間の見通しを持たせやすい。 ・SDGsにかかわる作品や活動を紹介するコラムや造形を通して地域とかかわる「みんなのギャラリー」のコーナーを設ける等、持続可能な社会に向けた取り組みや多様性にかかわる作品を取り上げている。 ・幼稚園教諭からのメッセージ（1, 2年上）や「未来につながる図画工作」（5, 6年下）を設け、幼稚園・保育園からの接続や中学校への接続やキャリア教育等を視野に入れた工夫がされている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育てたい3つの資質・能力に沿った「学習のめあて」を各題材に明記し、主体的・対話的で深い学びにつながるようにしている。 ・他教科との関連は、「あわせて学ぼう」を設定し、教科名や学校生活で関連付けるヒントの例を明示することで、教科等横断的な視点を入れている。 ・「1・2年下」に兵庫県の素材が取り上げられている。 ・プログラミング的思考に関する内容が「5・6年下」に入っている。 ・SDGsに関する内容が、すべての教科書に入っている。 			

教科名（ 図画工作 ）

発行者番号	116	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カラーユニバーサルデザインに配慮し、すべての文字にユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・ 自由度があり、指導において試行錯誤させやすい。 ・ 子どもの活動写真や子どもらしい作品が多く入っていて、「やってみたい」と感じさせる楽しそうな活動が紹介されている。 ・ 材料と用具の使い方の説明がわかりやすく、児童の主体的な学びに活用できる。 ・ 見開き構成の右下に、「きをつけよう」がレイアウトされており、安全面の意識が自然とできる工夫がなされている。 ・ 右下のQRコードで、学習のポイント等について、動画で見ることができる。 ・ 各学年で習得する漢字が使われているので読み仮名がなく、ゆったりとしたレイアウトである。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表紙を開けると、すぐ目次があり、1年間の見通しが持ちやすい。また、5つの活動（絵、工作、立体等）が明示されており、一目で活動内容がわかる工夫がなされている。また、「これなら作れそう」という意欲の湧く写真が使われている。 ・ 鑑賞教材が多く、特に、身近なところにある作品が充実している。 ・ 学習を国際理解やSDGs、多様な人々との共生等に結び付けることで、持続可能な社会の創造に目を向けられるような工夫がなされている。 ・ プログラミングを使った活動事例が、「3・4年下」と「5・6年上下」に例示されており、ICTを活用した学習への配慮がなされている。 ・ 「3・4年上」と「5・6年上」に兵庫県の素材が取り上げられている。 ・ 「3・4年上」と「5・6年上」では、「神戸っ子アートフェスティバル」「どうぶつものさし」「つながる図工」等が掲載され、防災に関する内容が取り上げられている。 ・ 用具の使い方が詳しく説明されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習を見通す場面や友達との対話場面などが児童にわかりやすく、コメントや活動写真で掲載されているので、「主体的・対話的で深い学び」につなげやすい。 ・ 他教科との関連は、「つながる学びマーク」により、教科等横断的な視点を入れている。 ・ 目次の下に、「保護者の方へ」のコーナーがあり、家庭との連携も意識している。 ・ 自然の素材を生かした単元が多く、丹波篠山市、丹波市の地域性に合った内容となっている。 ・ プログラミング的思考に関する内容が、「3・4年下」「5・6年上下」に入っている。 ・ SDGsに関する内容が、「3・4年上下」「5・6年上下」に入っている。 			

教科名（ 家庭 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大題材ごとに学習の進め方を「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで提示し、ステップごとにタイトル下に学習のめあてを示している。 ・ステップの最後に「ふり返ろう」のコーナーを設けており、振り返り学習を大切にしている。 ・各大題材の最初に「家庭科の窓」を設置し、見方・考え方の視点を意識して、学習がすすめられるようにしている。 ・配色に関しては視覚の多様性に、作業内容の写真や動画においては、手や体の巧緻性に配慮されている。 ・「成長の記録」「5年生のまとめ」「2年間のまとめ」で学習したことを振り返り、自己の成長を感じられるように工夫されている。 ・掲載されているワークシートでは、思考ツールを用いた、考えを整理しやすいものが多くあった。 ・ボタンの位置を変更できたり、字幕が出せたりして動画が使いやすく工夫されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年間の学習の見通しが立てられるようなガイダンスが掲載されている。 ・実物大の写真が多く掲載されており、児童がイメージしやすい。 ・各学年の最後に「まとめ」のページが設定され、中学校での学習のつながりを考慮した内容配列となっている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の生活文化に関する内容では、(お茶・だし・食器・もったいない・日本手ぬぐい・衣替え・染め物・もてなし・地域の料理等) 各分野で万遍なく掲載されている。また、内容も充実している。 ・兵庫県に関しては神戸市の調理師のインタビューが掲載されている。 ・SDGsに関する内容では、(リメイク・マイバック・食品ロス・地産地消、グリーンカーテン等) 幅広く掲載されている。 ・防災に関する内容では、地域・家族の一員として災害時にどのように行動するか等、衣食住の観点からバランス良く掲載されている。 			

教科名（ 家庭 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大題材ごとに学習の進め方を「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」という3ステップで提示し、単元名の下に3ステップとそれに合わせた学習のめあてを示している。 ・「調べよう」「考えよう」「話し合おう」で学習のめあてを用いた振り返りチェック、「生活に生かそう」で生活に生かしたい事を考えるコーナーを設けている。 ・体験活動ごとに、技能をチェックする欄があり1人1人振り返ることができる。 ・豆知識により、発展的な内容が多く記載されており、児童の興味・関心が高められる。 ・児童の興味・関心を自分の言葉で記述できる「マイめあて」のスペースを設けている。 ・動画の再生スピードが変えられ、動画が使いやすいように工夫されている。 ・実習・体験活動毎に「できたかな」で技能をチェックする欄を設けている。 ・文の意味をつかみやすくするために、1つの単語が行をまたがないように調整されている。 ・生活に関わる4つの見方・考え方が四つ葉のクローバーを使ってわかりやすく紹介されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を身につけられるように、スモールステップで学習が積み上げられるような配列になっている。 ・写真・イラストを多く取り入れているが、一部イメージしにくい所もあった。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・髪型や肌の色など多様性に配慮されている。 ・各題材「学習のめあて」で始まり、課題解決型学習を通して最後に「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」で家庭での実践につながるようになっている。 ・導入時や学習過程で「話し合おう」「考えよう」「やってみよう」等が配置されており、対話的で深い学びが展開されるような流れになっている。 ・兵庫県に関しては、ぼたん鍋、播州駄菓子等、特色ある食材が取り上げられている。 ・防災に関する内容については、共生・持続可能性との関連をテーマに見開きでまとめて扱っている。全体の分量としては少ない。 ・SDGsに関する内容では、単元を設けて扱っている。 			

教科名（ 保健 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを可能にする学習過程が示されている。 ・学習内容に関連するQRコードの掲載数が6者で一番多い。 ・スポーツ選手が取り上げられ運動領域との関連が図られている。 ・全ての学年で新型コロナウイルス感染症やSDGs、性の多様性等、現代的な諸課題を通じて、多様な学びへの対応が図られている。 ・キーワードは太字で示されており、UDフォントによる視認性が高い。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列は、すべての発行者において違いはない。 ・第3・4学年では健康な生活と身体の発育・発達についての分量が均等に扱われている。 ・第5・6学年では病気の予防についての分量が多く扱われている。 ・書き込み欄の数は多く、書くことが苦手な児童にも十分な広さがある。 ・第3・4学年の写真やグラフの数は平均的である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りを振り返って主体的に課題を設定し、課題解決に向けて他者と話し合って考えたり、自分の考えを説明したりするなど、対話的な学びの実現に向けた構成となっている。学習活動が1～4のステップに区切られている。 ・科学的、現代的な資料は「資料」というタグが示され独立したページで扱われている。 ・単元の扉と文中で他教科や他学年の学習との関連性が示されている。 ・第3・4学年・第5・6学年を通じて防災に関する内容が取り扱われている。 ・防災に関する内容は、兵庫県に関する内容が多く掲載されている。 			

教科名（ 保健 ）

発行者番号	4	発行者名	大日本図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを可能にする学習過程が示されている。 ・学習内容に関連するQRコードの掲載数は平均的である。 ・スポーツ選手が取り上げられ運動領域との関連が図られている。 ・全ての学年で新型コロナウイルス感染症やSDGs、性の多様性等、現代的な諸課題を通じて、多様な学びへの対応が図られている。 ・見慣れないフォントのため視認性・可読性が低い。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列は、すべての発行者において違いはない。 ・内容ごとの分量は、相対的に少ない。 ・書き込み欄の数は平均的である。 ・写真やグラフ等の資料の数は少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りを振り返って主体的に課題を設定し、課題解決に向けて他者と話し合ったり、自分の考えを説明したりするなど、対話的な学びの実現に向けた構成となっている。「つかもう」「話し合おう」「考えよう」「活かそう」の表示と「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」の表示がある。 ・科学的、現代的な資料は「もっと知りたい」という表示で独立したページで扱われている。 ・文中で他教科や他学年の学習との関連性が示されている。 ・第5・6学年だけに防災に関する内容が取り扱われている。 ・防災に関する内容では、自然災害から身を守るための実践的な内容が扱われている。 			

教科名（ 保健 ）

発行者番号	50	発行者名	大修館書店
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを可能にする学習過程が示されている。 ・学習内容に関連するQRコードの掲載数は6者で平均的である。 ・「体育の窓」のコーナーで運動領域との関連が図られている。 ・一部の学年で新型コロナウイルス感染症やSDGs、性の多様性等、現代的な諸課題を通じて、多様な学びへの対応が図られている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列は、すべての発行者において違いはない。 ・内容を取り扱う分量は、第3・4学年では身体の発育・発達についての分量が多く扱われている。 ・内容を取り扱う分量は、第5・6学年では平均的である。 ・書き込み欄の数は平均的である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りを振り返って主体的に課題を設定し、課題解決に向けて他者と話し合っ考えた り、自分の考えを説明したりするなど、対話的な学びの実現に向けた構成となっている。 ・科学的、現代的な資料は「資料」というページで独立して扱われている。 ・文中で他教科や他学年の学習との関連性が示されている。 ・第3・4学年と第5・6学年を通じて防災に関する内容が取り扱われている。 ・防災に関する内容では、自然災害から身を守るための実践的な内容が扱われている。 			

教科名（ 保健 ）

発行者番号	207	発行者名	文教社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを可能にする学習過程として「本時のメニュー」「Mission1」「Mission2」のステップが示されている。 ・学習内容に関連するQRコードの掲載数は6者で平均を大きく下回っている。 ・第5・6学年にスポーツ選手が取り上げられ運動領域との関連が図られている。 ・全ての学年で新型コロナウイルス感染症やSDGs、性の多様性等、現代的な諸課題を通じて、多様な学びへの対応が図られている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列は、すべての発行者において違いはない。 ・第3・4学年では健康な生活と身体の発育・発達についての分量が均等に扱われている。 ・第5・6学年の内容ごとに取り扱う分量は、すべての内容で多く扱われている。 ・書き込み欄の数は少ない。 ・第3・4学年のグラフの数が少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本時のmenu」「Mission キーワード」「もう一歩先の自分へ・この時間のまとめ」の構成になっており、主体的な学びを意図した構成となっているが、他者と比べて学習活動が児童に伝わりにくい。 ・科学的、現代的な資料は「Episode」と表示され文中で扱われている。 ・他教科や他学年の学習との関連性の表示が分かりづらい。 ・第5・6学年だけに防災に関する内容が取り扱われている。 ・防災教育に関するページでは、自助・共助・公助でまとめられている。 			

教科名（ 保健 ）

発行者番号	208	発行者名	光文書院
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを意識した「見つけよう」「調べよう・考えよう・話し合おう」「生かそう」のステップが示されている。 ・学習内容に関連するQRコードの掲載数は平均的である。 ・スポーツ選手が取り上げられ運動領域との関連が図られている。 ・キーワードは太字で示されているが、6者の中では文字が小さく視認性と可読性が低い。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列は、すべての発行者において違いはない。 ・第3・4学年では健康な生活と身体の発育・発達についての分量が均等に扱われている。 ・第5・6学年での内容ごとに扱う分量は、相対的に少ない。 ・書き込み欄の数は少ない。 ・写真やグラフ等の資料の数は少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りを振り返って主体的に課題を設定し、課題解決に向けて他者と話し合っ考えたり、自分の考えを説明したりするなど、対話的な学びの実現に向けた構成となっている。「みつけよう」「考えよう」「話し合おう」「生かそう」の表示がある。 ・科学的な資料は「科学のとびら」と表示され文中で扱われている。 ・文中で他教科や他学年の学習との関連性が示されている。 ・第5・6学年だけに防災に関する内容が取り扱われている。 ・防災に関する内容では、自然災害から身を守るための実践的な内容が扱われている。 			

教科名（ 保健 ）

発行者番号	224	発行者名	学研
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを意識して「ふり返ってみましょう」「話し合っ（出し合っ）みましょう」「学びを活かす」のステップが示されている。 ・学習内容に関連するQRコードの掲載数は平均的である。 ・スポーツ選手が取り上げられ運動領域との関連が図られている。 ・全ての学年で新型コロナウイルス感染症やSDGs、性の多様性等、現代的な諸課題を通じて、多様な学びへの対応が図られている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列は、すべての発行者において違いはない。 ・第3・4学年では健康な生活と身体の発育・発達についての分量が均等に扱われている。 ・第5・6学年で内容ごとに取り扱う分量は多い。 ・書き込み欄の数は多い。 ・写真やグラフの数は一番多い。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りを振り返って主体的に課題を設定し、課題解決に向けて他者と話し合っ考えたり、自分の考えを説明したりするなど、対話的な学びの実現に向けた構成となっている。学習の進め方の表記が、単元によって異なる。（例：「危険を予想する」・「危険を見つける」、「理由について話し合っ」・「話し合っ」） ・科学的、現代的な資料は「ほけんのはこ」と表示され文中で扱われている。 ・単元の扉と文中で他教科や他学年の学習との関連性が示されている。 ・第3・4学年と第5・6学年を通じて防災に関する内容が取り扱われている。 ・防災に関する内容は、資料的に扱われている。 			

教科名（ 外国語〈英語〉 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シンプルな紙面で構成され、デジタルコンテンツが全ページで豊富に機能している。 ・ 基礎的な内容から発展的な内容へと繰り返し段階的に学べる構成になっている。児童がやり取りしながら、スモールステップでくり返し学習を積み上げていく単元構成になっている。 ・ デジタル教科書を活用し、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」をリンクしながら見通しを持って学び進められるので、児童の習熟度や興味・関心に応じた個別最適な学びに対応している。 ・ 他国の文化等を紹介する内容が取り扱われていて、多様な考え方が身に付くよう構成されている。 ・ カラーユニバーサルデザインの観点から配色が工夫されている。 ・ 児童が自身のデジタル教科書に書き込み、調べて分かった事柄等を蓄積することができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入段階でストーリーを伴った音声や映像を視聴し、学習内容に慣れ親しむようになっている。 ・ 1単元（Unit）の時間数は8時間となっており、学期末に2時間のまとめの時間を配置している。 ・ 余裕を持った単元の配列となっていて、4年生から円滑な接続が意識されている。 ・ 各単元で使用する例示文の数は4文で、児童が英語でのやり取りを楽しむのに適した分量である。学期末は文例がなく、既習内容を総合的に再確認する学習の幅が持てるよう工夫されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展開段階では、聞く活動の後に、ペアやグループで学習した語彙や表現を使ってやり取りをする活動を行うので、確実に英語で伝え合う力が身につけられるよう適切に単元計画されている。 ・ 「Digital Map」や「Digital Dictionary」を使って、児童が調べ学習を楽しく、効率的に行えるようになっている。児童が主体的に関心を持って学びに向かえる内容となっている。 			

教科名（ 外国語〈英語〉 ）

発行者番号	9	発行者名	開隆堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な写真、イラストをふんだんに使って理解を促すよう紙面構成されている。 ・単元のゴールが明確に例示してあり、学習の見通しを持ちやすい。 ・学年ごとの「CAN - DO リスト」を活用し、児童の自己評価を意識づけることが可能である。 ・学習内容（カリキュラム）が豊富に盛り込まれていて、各単元で使う例示文の数が多い。 ・英語での表記が多いため、見やすい字体になっているのは有用である。 ・アニメーションや資料動画など、主体的な学びを支援するデジタルコンテンツが準備されている。紙面教科書が充実しているため、デジタル教科書を使いこなす必要性に欠ける。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大単元構成は、学習内容を確認する活動（導入）から入り、単元ゴールに必要な語句や表現を使って伝え合わせ（Lesson）、それらの表現を使って相手に自分のことを伝える言語活動に取り組む（Let' s Check）構成となっている。 ・1 単元（Lesson）の時間数は8時間となっており、学期末にまとめの2時間を配置している。 ・各単元の発表ややりとりで使用する例示文は2文～7文で、学期末には例示されていない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達と同世代のキャラクターが成長する様子をストーリー仕立てで展開し、聞きたくなる、話したくなる題材・設定が準備されている。また、豊富な写真や魅力あるイラストをふんだんに使って興味関心を高め、理解を促すように紙面構成されている。 ・自分のことを伝えるために、語句や表現を書き写す活動を行うようになっている。 			

教科名（ 外国語〈英語〉 ）

発行者番号	15	発行者名	三省堂
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年3つのUnitで構成されており、2年間の学びで6つのUnitが設定されている。3つのUnitの中にLessonが組み込まれていて、「Hop、Step、Jump」と児童が到達していく過程が分かりやすい。 確かな学力を定着させるために、「聞く」「使う」「やってみる」の流れでUnitを構成し、インプットからアウトプットへと活動を進め、基礎的な力を育成するための工夫がなされている。 ふり返りのスペースを確保することで、主体的な学びを自己評価できる構成になっている。 日本人の著名人や各都道府県の様子が豊富に盛り込んであり、児童が親しみや意欲を持って学習に取り組むことができる。また、読み物や世界の民話の紹介も魅力ある言語活動として組み込まれている。「読むこと」「書くこと」に楽しみながら活動できる工夫がなされている。 「Dictionary」は2年間で1冊なので、継続して学習に使うことができ、使いこなせる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年で6つの単元（Lesson）で構成され、なおかつ学年に3つの大単元を設定し、それぞれに3種類の小単元（Hop、Step、Jump）が配置されている。 1単元（Lesson）の時間数は5時間のもの7時間のものがあり、学期末に2時間のまとめ時間を配置している。 各単元の発表ややり取りで使用する文の数は2文程度で、学期末は4文～6文の例示がある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入段階でメインキャラクターが登場する大きな一枚絵で学習する語句や表現と出会わせるようになっている。児童にとって身近な場面が設定されていて、学習の見通しを持ちやすい。 展開段階で各Partの言語活動を通して語句や表現を身につけ、学んだ表現で話す活動（やり取り）中心にまとめの活動を行うようになっている。 1Unitに1回程度巻末カードを使った書く活動も盛り込まれている。 各LessonのPartに、楽しみながら言語活動を行う「Let's Play」が準備されている。 			

教科名（ 外国語〈英語〉 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次ではなく、1年間の学びの見通しを持つことができる「ロードマップ」を取り入れている。 5年生と6年生で類似の単元を組み、2年間の中でスパイラルに学習を積み上げていく。 5年生から6年生へ、6年生から中学生へ向けての学習の流れを児童に捉えさせ、主体的に学習に取り組ませる工夫がされている。 児童が楽しく学びたい、活動したいと思えるような単元構成になっており、達成感や表現意欲を高めるような工夫がされている。単元の導入で映像を見る活動を取り入れ、学習内容をイメージしやすくし、見通しを持って意欲的に学ぶことができる工夫がされている。 児童の気づきとふり返りを単元の最初と最後に設定することで、学びの定着が図られている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元構成は、まず映像を見て内容をとらえさせ、ゴールを提示して見通しを持たせ、聞いたり話したりする活動に慣れ親しませて、単元の目標活動を行わせる。 音声と文字、復習とふり返りのコーナーがある。 既習内容やセンテンス、単語をくり返し使って習得していく構成になっている。 1単元の時間数は、7時間配当を基本としている。 各単元の発表ややり取りで使用する文の数は、2文～6文が例示されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年間を通して「聞くこと」や「話すこと（やり取り・発表）」を中心に、段階的に「読むこと」や「書くこと」を学べる4技能5領域の配列がされている。 巻末のシールやカードをデジタル教材でも選択でき、個別の学びを充実させることができる。 人物紹介は充実している。多様に人々が社会を生き生きと生活している様子が描いてあり、これからの社会を生きていく上での必要な英語の基礎が盛り込まれている。 			

教科名（ 外国語〈英語〉 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が「伝えたい」と意欲が高まるような単元のゴールを設定している。 ・既習表現を思い出しながら表現活動がより豊かになるように工夫されている。 ・ゴールまでの流れが見える Unit 構成となっており、着実に学習が進むように工夫されている。 ・「This is my town.」のように、町の魅力を伝え合う（認め合う）内容は、児童が関心を持って、動機づけや紹介する値打ちづけを図りながら、単元学習を進めることができる。 ・「CAN - DO リスト」が見開きにあり、意識しやすい。児童の自己評価につながる。 ・5年生にも6年生にも「Picture Dictionary」が付属され、取り外し可能である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元構成は、まず映像のストーリーを視聴し話の内容をつかませ、ゴールを提示し、学習内容に慣れ親しませて単元のゴール活動に取り組みさせる配列である。 ・各 Unit のはじめに Goal と学習の流れを示し、「ふり返ろう」でどの程度達成できたか児童自身が評価し、主体的な学びを進められるようにしている。 ・1単元の時間数は、7時間配当を基本としている。 ・中学校の学習にスムーズに移行できるように、文字の学習はスモールステップでていねいに学習できるようになっている。 ・各単元の発表ややり取りで使用する文の数は、2文～6文が例示されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5領域の言語活動がバランスよく配置されており、話すことにおいても発表に偏ることはない。 ・グループでの協働学習が活動形態の中心になっており、対話的な学びの推進を可能にしている。 ・外国の生活や文化についての話し合いを促し、考えをさらに深める課題を示して対話的な学び、深い学びにつなげている。 			

教科名（ 外国語〈英語〉 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各 Unit に児童の興味・関心を高める豊富な情報を取り入れている。 ・各 Unit で GOAL に向かってスモールステップで取り組める構成になっている。 ・話す活動に楽しさを感じさせる内容構成になっている。 ・英語を通して他者とコミュニケーションを図るための力をつけるための内容となっている。 ・生活場面に関連した場面や状況を設定することで、当事者として思考し判断できるようにしている。英語を実際に使うための様々な場面や使い方を児童に考えさせ、主体的に学ぶ工夫がされている。 ・デジタルコンテンツの数が豊富である。教科書内の様々なコンテンツを「おどろぐばこ」にまとめ、いつでも使って思い出せるようになっている。「Picture Dictionary」は教科書と一体型である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元構成は、Unit の扉で言葉や言葉を使う場面に出会わせ、Step 1 から 3 にかけて、言葉を使いながら慣れ親しみ、コミュニケーションを楽しむ学習内容になっている。 ・単元末には、世界の英語に触れることができ、異文化理解を促す豊富な情報が盛り込まれている。 ・1 単元の時間数は、全 7 時間配当を基本としている。 ・各単元の発表ややりとりで使用する文の数は、2 文～6 文が例示されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各 Step に Activity を設け、聞くだけにならないように、話す活動を設置している。 ・6 年生では聞いたり話したりしたものから、読んだり書いたりする活動を行い、4 技能 5 領域を相互に関連付けながら学習が進められるように配慮されている。 ・児童同士で学習した語句や表現を伝え合う場を設定され、協働的な学びにつながっている。 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材のおわりに考えるポイントを示して教材解釈の焦点化を図っている。 ・問題を見つけて考える教材、身近な生活場面から問題解決的な学習ができる教材を工夫している。 ・活動型教材で子どもたちの多様な考え方を引き出し、道徳的価値の追求を図っている。 ・体験的な学習との関連も図れるように教材の内容を工夫している。 ・A4判を縦に小さくしたA3判である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを生まない土壌づくりについて直接的教材と間接的教材を配列している。 ・情報に関する内容の教材が全学年で掲載されている。 ・新型コロナウイルス感染症に関する内容が全学年に配列されている。 ・重点内容項目を複数配置し、繰り返して指導できる配列である。 ・35教材を設け、年間35時間分を保障している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的・対話的に活動できるよう、多面的・多角的に考え議論できるような工夫がある。 ・いじめ問題の教材では、発達段階に応じた内容に配慮し、直接的・間接的に扱っている。 ・食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。 ・兵庫に関して取り上げている教材があるのは6年生だけである。 ・防災については2年生以上で、阪神淡路大震災や東日本大震災、水害等自然災害を取り上げている。 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の冒頭に主題が示され、導入がしやすい。 ・教材の末尾に「学びの手引き」を設け、問題解決的な学習、体験的な学習等により、児童が自ら考え、深められるよう工夫されている。 ・自己評価で振り返りができるよう工夫されている。 ・読み物教材にも役割演技を入れて体験活動を工夫している。 ・文字のフォントや面のデザイン・イラストがユニバーサルデザインに配慮されている。 ・A4判を縦に小さくしたA B判である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間の中で考え議論する時間が十分にとれるよう、1教材あたりの文章量を工夫している。 ・人物についての教材は、比較的多い配列である。 ・情報に関する内容の教材を全学年に配置している。 ・各学年の重点項目については、教材をまとめて配列し、連続して学習することで、道徳的価値についての理解をより深められるよう工夫している。 ・いじめの内容の後に必ず自分を振り返るコラムがついている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的・対話的に活動できるよう、多面的・多角的に考え議論できるような工夫がある。 ・いじめ問題では、発達段階に応じた内容に配慮し、直接的・間接的に扱っている。 ・兵庫に関して取り上げている教材は、補充教材1つのみである。 ・食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について全学年で取り上げている。 ・防災については、2年生以上で東日本大震災等を取り上げているが、教材数が少ない。 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が身近に考えられるような設定で、自分自身が判断し行動につなげる問題解決的な学習が取り入れられている。 ・児童が本気で考え、議論することができるよう、考え方のポイントを示すなどの配慮がされている。 ・授業で考えたことを日常生活や他教科・領域等とつなげる配慮がなされている。 ・B5変形判であり、調査対象中最小サイズであるが、見やすい紙面になっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間で3つのまとまりに分け、視点の焦点化を図った配列になっている。 ・いじめに関する内容が1年を通して多面的・多角的に意識し続けることができるよう、バランスよく配置されている。 ・よびかけや教材、コラムを組み合わせ、内容項目から考えたことを現代的な課題として見つめる配列がなされている。 ・35教材を設け、年間35時間分を保障している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技の手立てを全学年に位置付け、体験的な学習を進める工夫がある。 ・いじめ問題など現代的な課題については、複数の教材のセットでじっくり考えたり、具体的な活動を促すSST(ソーシャルスキルトレーニング)を全学年に設けたりしている。 ・食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について、身近に考えられるよう工夫されている。 ・兵庫に関する教材は、4年生以上で阪神淡路大震災を取り上げている。 ・防災については、3年生以上で阪神淡路大震災や東日本大震災、関東大震災等を取り上げている。 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊に道徳ノートが付き、成長の記録や評価に活用できる。 ・子どもたちの思考を深めるための手立てが参考例として具体的に示されている。 ・児童の考えを引き出す3つの発問が導入と末尾にあり、学びに見通しが持てる。 ・A4判を縦に小さくしたA B判である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する内容の教材を全学年に配置している。 ・「いじめを直接的に扱う教材」「いじめを間接的に扱う教材」「いじめ防止に関するコラム」を1つのセットとして、年間3回配置している。 ・35教材を設け、年間35時間分を保障している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的・対話的に活動できるよう、多面的で多角的に考え議論できる工夫がある。 ・食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。 ・兵庫に関して取り上げている教材は、3年生以上で阪神淡路大震災や手塚治虫、姫路城である。 ・防災については、阪神淡路大震災や東日本大震災等を取り上げている。 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	208	発行者名	光文書院
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目に迫るための主題や発問が導入部分にあり、末尾にまとめや広がりをもつ発問がある。 ・ 巻末に学習を振り返るスペースがある。 ・ A4判を縦に小さくしたA5判である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年に応じて重点項目を置き、複数時間構成で多面的・多角的に考えられるよう配慮している。 ・ L G B T Qなど、現代的な課題を考えられる教材を掲載している。 ・ 40教材を設け、年間35時間分を保障している。（付録教材5教材） <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題では、発達段階に応じた内容に配慮し、いじめを直接的・間接的に扱っている。 ・ 食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるように工夫されている。 ・ 兵庫に関して取り上げている教材は、5年生だけで、復興に向けた兵庫県のコメントである。 ・ 防災については、3年生以上で東日本大震災等を取り上げている。 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	224	発行者名	学研
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトルとともに考える手がかりを記載し、児童の主体的な学び、自ら課題を見つける問題意識を大切にしている。 ・多様な学習形態をとおして、多面的・多角的に考えるための工夫がされている。 ・重点項目を設定し、教材数の充実や異なる内容項目との組み合わせなど、「広く深い学び」の工夫をしている。 ・A4判を縦に短くしたAB判である。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面を十分に使い、豊かなビジュアルを使った表現がされている。 ・35教材を設け、年間35時間を保障している。 ・情報モラルを含め、現代的な課題について積極的に取り上げている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止に繋がる教材は、様々な内容項目で取り上げ、多面的・多角的に考えられるよう配置している。 ・食文化や地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。 ・兵庫に関して3年生以上で取り上げている。 ・防災について、阪神淡路大震災や東日本大震災等を2年生以上で取り上げている。 			